

私たちも応援しています！



東武館正門

水戸東武館は、水戸藩弘道館剣術指南役として北辰一刀流千葉周作先生の四天王の一人と謳われた小沢寅吉政方先生により明治7年に創設され、その後幾多の困難を乗り越え多くの有為な人材を輩出し、140年の歴史を刻み、現在も多くの青少年達が稽古に汗を流しています。今や剣道界の聖地として、水戸の名と共にその名を全国に轟かせております。

その東武館はこの度、水戸の進める「歴史的風致維持計画」に基づく、水戸ならではの歴史的景観形成事業の街路拡幅整備の一環として移転を余儀なくされ、隣接する茨城新聞社跡地へ移築建設の運びとなりました。

昨年10月には、館に伝承されている「北辰一刀流」と水戸藩のお留流であった「新田宮流抜刀術」が揃って水戸市の「無形文化財」に、そして道場と正門が「有形文化財」の指定を受け、ここに名実ともに水戸を代表する歴史的文化遺産となりました。

弘道館建学の理念を今に受け継ぐ水戸東武館をしっかりと次世代へ残していくことが現代に生きる私達の使命と考えております。

しかしながら、この事業には多大の費用が伴うことが予想されており、多くの市民の協力が不可欠であります。よって移築建設に向けての発起人会を組織し、趣旨にご理解をいただき、市民サイドよりの物心両面に亘るお力添えを賜りますようお願い申し上げます、皆様と共に水戸の風格溢れる歴史の街づくりの輪を広げて参りたいと願っております。

平成26年1月吉日

水戸東武館移築建設推進発起人会代表

茨城県商工会議所連合会会長 和田祐之介